



青南を みんなの 心のふるさとに 心の根っこを育てよう

平成30年度

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<今年もよろしくお祈いします>

引き続き園長を務めさせていただく新山（あらやま）です。どうぞよろしくお祈いします。今年は園庭の桜は春休みのうちに咲き終えて、4月にはシンボルツリーの楓（かえで）の若葉が清々しく、新しい一年の始まりを祝ってくれました。

昨年度は、開園50周年の記念すべき年で、保護者や地域の多くの方々が青南幼稚園を大事に見守り、支えてくださっていることを熱く感じた一年間でした。表参道・南青山にある青南幼稚園ならではの保育を、皆さんと共に創り出していきたいと思ひます。今年度も、大人も子どもも笑顔の輪が広がる青南幼稚園にしていきたいと思ひます。

<心の根っこを育てよう>

幹や枝葉が立派な木は、地面の下にしっかりと根を張っています。私たちは、子どもたちが個性豊かな立派な木々として伸びていくために、その根っこを丁寧に育てます。家庭や地域とのつながりを大切にしながら、身近な人や自然とのかわりから生まれる遊びや生活を通して、子どもたち一人一人に、人への信頼感を基盤とした主体的に生きる構えを育てます。人とかわることは楽しい、困ったときには支えてくれる人がいるから、多少の困難にも前向きに立ち向かうという構えです。

<青南を みんなの 心のふるさとに>

私は、園経営のビジョンについて説明するとき、いつも「子どもたちを真ん中に、教職員や保護者、地域の方々も含めて、みんなにとって心に残る日々を共に創り出していきたい」と話しています。子どもたちの豊かな育ちは、私たち大人自身の育ちとともにあると思うからです。幼稚園は、楽しく、おもしろく、そこに豊かな学びがある「おさなごの園」です。皆さんと一緒に「青南を みんなの 心のふるさと」にしたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いいたします。

青南の 二十四節気

二十四節気

勤務する園の自然や季節の移ろいを「二十四節気」に合わせてお知らせし続けて10年を越えます。身近な自然の変化に気付く心は、子どもの心のサインに気付く感性を磨くことにもなると思ひ、続けているコラムです。身近な自然から感じたこと、それにかかわる子どもたちの姿などを紹介していきます。

都会であっても、時々の季節感を身近な自然から感じることはできます。自然の営みや移ろいを感じ取るセンサーの感度を上げていきたいものです。そして、表参道・南青山の街で出会うことができる自然とのかわりや自然からの贈り物をうまく取り入れていくことで、大人も子どもも感性を磨き、遊びや生活を豊かにしていきたいと思ひます。



園長の新山です
「ぶうちゃん」もよろしくお祈いします



平成13年に保護者が作ってくれたピオオーブ



そのわくわく池はおたまじゃくしの幼稚園



今年も子どもたち手作りのこいのぼりが泳ぎます



第6代園長の(故)大迫さかゑ先生の子供たちへの思ひが込められた絵です